

はじめに

戦略的基礎研究推進事業は、「科学技術創造立国」をめざし、明日の科学技術につながる知的資産の形成を図ることを目的とし、大学や国立試験研究機関などの研究ポテンシャルを活用しつつ、重点化した基礎研究を推進するものです。

当事業は平成7年度に発足し、平成11年3月末現在は総予算額およそ247億円（平成10年度予算）、15の研究領域で、201の研究テーマが実施されています。

また、事業にご参加いただいている研究者の総数におきましても、海外から参加している多数の研究者も含めて数千名を数え、その広がりも多大なものとなっております。

戦略的基礎研究推進事業がスタートして既に3年余りが経過し、その間、数多くの研究成果を挙げてまいりました。これらの研究成果については、論文発表や学会での口頭発表に加え、毎年開催しております公開シンポジウム、また、適宜、新聞紙上に公表しております。また、特許の取得等にも積極的に努めており、いずれ企業等によって実用化されることを期待しております。

今後も、事業団は、戦略的基礎研究推進事業を通じ、将来の科学技術に大きなインパクトをもたらし、国際的にも高く評価されうる成果を得、将来の新産業創出にもつながるよう努めてまいります。

このような中、平成10年度に実施した研究の概要および発表した主な論文リストを、201名の研究代表者ごとに掲載した「研究年報」として発刊させていただくこととなりました。皆様方に広くお読みいただきまして、ここに収録しました研究成果を参考に供していただき、また、幅広くご意見を賜ることができれば幸いに存じます。

平成11年11月

科学技術振興事業団
基礎研究推進部
部長 林 俊一